

講座・イベントの ごあんない

イベント

日時

■市民活動プラザむつあいの休館日変更	9月21日(月・祝) → 9月22日(火)
■市民活動推進センターの休館日変更	9月22日(火・祝) → 9月23日(水)
■プラザdeカフェ「カカオの栽培から見える世界の流れ」	10月3日(土) 13:30~16:00
■ITサポート講座「ステップアップ!エクセル講座」	10月5日(月)・12日(月) 13:30~16:00
■マネジメント講座「NPO入門」	10月10日(土) ~ 10月23日(金)

NEW!

支援施設からのお知らせ

■推進センター・プラザむつあい 休館日変更のお知らせ

9月21日(月)は敬老の日のためプラザむつあいは開館いたします。また、9月22日(火)は秋分の日のため推進センターは開館いたします。それぞれ振替として下記の通り休館日が変わります。
・プラザむつあい：9月21日(月・祝)開館、9月22日(火・祝)休館
・推進センター：9月22日(火・祝)開館、9月23日(水)休館

■推進センター ビルの改修工事について

推進センターが入居している小島ビル(藤沢市藤沢1031)につきまして、外装等の工事が行われます。ご利用に影響が出る内容につきましてはセンターHPにて随時お知らせいたします。利用者の皆さまにおかれましては、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。
予定工期：2020年9月1日(火)~11月30日(月)

■プラザdeカフェ「カカオの栽培から見る世界の流れ」

六会、インドネシア、バプア、気仙沼の4か所をZoomでつなぎます。インドネシア・バプアで生産されるチョコレートの原材料カカオや、その栽培の現状、現地の生活などを知り、オンライン交流を楽しみましょう。

日時：2020年10月3日(火) 10:00~12:00

場所：六会公民館3Fホール

内容：現地で植栽している方の暮らしなどについてお話を伺います

料金：無料

対象：海外支援活動、テレビ会議システムに興味ある方

定員：30名(来館分) ※別途Zoomでの参加も歓迎

問合・申込：市民活動プラザむつあい

■ITサポート講座「ステップアップ!エクセル講座」

「集計表」などの表計算の基本から、会員名簿におけるデータ整理といった中級スキルまで習得できます!

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を減らして実施します

日時：①2020年10月5日(月) 13:30~16:00

②2020年10月12日(月) 13:30~16:00

場所：市民活動推進センター 会議室

内容：集計表で学ぶ表計算の基本、データ整理と活用法

料金：2回で2,500円(テキスト代含む)

対象：NPO・市民活動・地域活動に関わっている方でExcelを習得したい方 ※パソコンで文字入力ができる方

定員：5名

問合・申込：市民活動推進センター

■マネジメント講座「NPO入門~知っておきたいNPOのこと~」

団体に関わる方、NPOについて学んでいる最中の方向け。オンライン講座で「NPO」について、改めて学んでみませんか?現在までの日本におけるNPO・市民活動の歴史を含め、分かりやすくお話しします。

日時：2020年10月10日(土)~10月23日(金)

内容：NPOとは、特定非営利活動促進法について、信頼できるNPOとは

料金：500円

対象：NPO・市民活動に興味がある知識を深めたい個人または団体

問合・申込：市民活動推進センター



発行：藤沢市市民活動支援施設

本館：市民活動推進センター

開館時間 9:00~22:00 火曜休館

〒251-0052

神奈川県藤沢市藤沢1031 小島ビル2階

TEL: 0466-54-4510 FAX: 0466-54-4516

Eメール: f-npoc@shonanfujisawa.com



分館：市民活動プラザむつあい

開館時間 9:00~19:00 月曜休館

〒252-0813

神奈川県藤沢市亀井野4-8-1 六会市民センター2階

TEL&FAX: 0466-81-0222

Eメール: f-npoplaza@shonanfujisawa.com

URL: http://plaza6i.f-npon.jp/



編集：認定NPO法人 藤沢市市民活動推進機構(藤沢市市民活動支援施設 指定管理団体)

※この情報誌は、サポートクラブのメンバーのご協力により、皆さまのお手元に届いております。サポーターも随時募集中です!



特集：市民で守る湘南の海



9月、まだまだ残暑が厳しいものの、今年の夏は主なイベントが軒並み中止になり、あっという間に過ぎていった気がします。まちの中でも様々な場面で例年との違いを感じたと思われそうですが、その1つが海辺に集まる人の数ではないでしょうか。全体的な人の数は少ないものの、海水浴場が開設されなかった海岸の様子を、サーフ90 藤沢ライフセービングクラブ(以後サーフ90)の服部さんに伺いました。

サーフ90は、湘南海岸公園サーフビレッジを拠点に、ライフセーバーとして海の安全を守っている市民活動団体です。年間を通じてサーファーが多い湘南の海岸において、監視や有事の際の救助活動等を担っています。社会人によるボランティアのライフセービング団体というのは、全国的にも珍しいのだそうです。消防士や看護師のメンバーが中心となって団体内でのトレーニングを行い、毎年夏のシーズンに臨んでいます。(つづく)



■ 特集：市民で守る湘南の海

特に夏の土日は多くのサーファーが集まり、初心者から大ベテランまで、その実力は様々です。必然的にサーフボードの接触事故などが起こりやすくなるため、サーフ90のメンバーは、海に近いところから絶えず各サーファーに目を配り、必要に応じて声かけをすることで事故を未然に防いでいます。それでもけが人や熱中症などの患者が出た際は、救急車が来るまでの応急処置を行っている、湘南の海が安心安全であるためには無くてはならない存在となっています。

今年の夏はコロナの影響で海水浴場が整備されませんでした。遊泳エリアの設定もなく、そのためサーファーと遊泳者が混在する形になっていました。はじめは「エリアを分けてほしい」という要望が出た場合に対応できないため、サーフ90としては砂浜から下がり、サーフビレッジの監視塔からの監視に限定していました。しかし、しばらく続けていく中でやはり危険であると判断し、堤防に1名人員を置くようにしたそうです。取材に伺った際、堤防と監視塔とで密に連絡を取り合う姿は、まさに市民が自ら海を守っていると感じるものでした。



サーフ90は今年で設立30周年を迎えます。長く続いている原動力は、やはりメンバーの海が好きという気持ちと、その海を多くの人に好きでいてもらいたいという想いにあるとお話を伺っている中で感じました。そのことがまずは海の安全を守る活動であり、そして地元町内会の救急法の講習や、企業と合同で実施するビーチクリーン、救助に使う水上バイクの試乗会などの多岐にわたる活動につながっているのです。

また、このような活動の幅を広げるためには多様なメンバーでいたいということで、たとえば「写真を撮りたい」という人に加わってもらい、その写真を団体の周知のために活用できたら嬉しいと服部さんはおっしゃっていました。“ライフセービングの経験がなくていい”そういったオープンな雰囲気こそが、夏の湘南の海を守っています。関わりやすいこと、これが団体の活動を長年続けながら、今年のような異様な状況にも対応していくためには大切なことかもしれないと感じました。

(取材 / 記事作成 林・佐久間)

※写真はそれぞれ堤防と監視塔で監視を行う様子



団体紹介

サーフ90藤沢 ライフセービングクラブ

副代表:服部一正
活動日時:毎週日曜日(10:00-15:00)
活動場所:湘南海岸公園サーフビレッジ
藤沢市鵠沼海岸1-17-3
問合せ:surf90fsc@gmail.com
HP:http://surf90fujisawa-lifesaving-club.com/



湘南海岸公園サーフビレッジを拠点に、ライフセービング活動を行う社会人を中心とした市民活動団体。1990年に相模湾が抱える諸問題の解決策をさぐるイベントとして実施された相模湾アーバンリゾート・フェスティバル1990(略称、サーフ90)を土台として組織され、30年間の歴史があります。主な活動として海岸の監視、救急等の対応からイベントの警備や救急法の講習等多岐にわたる、湘南の海の安全を守る活動をされています。

ライフセービングを通じて地域に貢献する

ことを大事にしているとのこと。ベテランから初心者まで仲良く元気に活動しています。ご興味のある方はお気軽にお問合せください。



「配信動画の撮影」3つのポイント

NPO TIPS



活動を配信したい時、「F-wave」8月号でご紹介したように、専門の団体等に依頼をすることも選択肢の一つです。とはいえ、自団体でも動画を配信する場合はどう準備していけばよいのでしょうか。今回は、推進センター配信講座の撮影から見てきた、気をつけておきたい3

つのポイントを整理してみました。

ポイント1 必要な機材を揃える

- ・カメラ：ビデオカメラ、できれば保存形式が編集しやすいものだと使いまわしがよいです。最新のスマートフォンであればカメラより綺麗にとれることも。
- ・マイク：PCやカメラ付属のマイクでは音声聞き取れないことも多く、独立したマイクがおすすめ。音声データをSDカードなどに保存できるものが便利です。
- ・三脚：動画撮影は長時間に渡ることが多く、また画角が安定するため、スマートフォンで撮る際も含めて、必須アイテム！意外と見落としがちなので、撮影機材にあったものを用意しておくとうれいでしょう。

ポイント2 撮影環境を整える

周囲の環境音が、一番の天敵です！スタジオなどを使って撮影すればベストで

すが、センターでは利用の少ない時間の会議室等を使って撮影しています。可能であれば、撮影予定場所ので収録をして周囲の音や明るさはどうか、といったテストができるようにしましょう。

ポイント3 編集・配信ツールを利用する

ライブなのか収録なのか、対象は一般の方々か団体のメンバーのみなのかなど、ケースにあわせて配信ツールを選択しましょう。配信ツールにあわせて動画データを編集し保存形式を選ぶ必要があります。スマートフォンアプリもありますし、PCでも編集ツールを用意しておくことで対応できる幅が広がります。

もしお悩みの点がありましたら、センター・プラザへの相談も承ります。活動の幅を広げるよい機会にもなりますのでぜひチャレンジしてみてくださいかがでしようか。(桜)

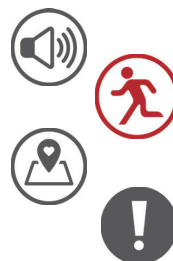
コロナ禍における避難行動のための準備

9月は防災月間です。平成30年豪雨や令和元年東日本台風など気象現象による水の被害が増えています。内閣府(防災担当)と消防庁は、コロナ禍における適切な避難行動について、「知っておくべき5つのポイント」を2020年5月29日に発表しました。
(<http://www.bousai.go.jp/pdf/colonapoint.pdf>)
いざ避難となった時に的確な避難行動をとるためには、「平時の準備」が大切です。そこで、それぞれのポイントの「平時の準備」を考えました。台風の季節が迫る中、日ごろの準備を今年こそしておきましょう。

また、日ごろの準備でよく話題に上る「ハザードマップ」ですが、国を始めとして、都道府県や市区町村など行政が作成しています。

藤沢市では、「津波ハザードマップ」「津波浸水想定図」「揺れやすさ・液状化危険度マップ」「地域危険度マップ」「洪水浸水想定区域図」「土砂災害・洪水ハザードマップ」などが作成されています。想定する災害の規模・頻度や地形等の状況により作成しますが、状況や条件の変化に伴い更新しています。基本的に災害が発生する恐れの高い区域を着色していますが、着色のないところでも災害が起こる可能性があるといわれています。色が塗られていなくても、周りに比べて低い土地や、けの近くにお住まいの方は、災害が起こる前に準備を始める必要があります。

まずは、ご自宅のハザードマップの確認をしましょう。(て)



※首相官邸 HP より

「知っておくべき5つのポイント」		避難行動のための「平時の準備」
1	避難とは[難]を[避]けること。安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。	比較的多くの時間を過ごす場所の安全性と避難場所の確認。
2	避難先は、小中学校・公民館だけではなく、安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。	親戚や知人宅への避難の可能性を打診し、日ごろから情報の共有に努めましょう。
3	マスク・消毒液・体温計が不足しています。できるだけ自ら携行して下さい。	マスクや消毒薬の予備をある程度確保しておきましょう。
4	市町村が指定する避難場所、避難所が変更・増設されている可能性があります。災害時には市町村ホームページ等で確認して下さい。	災害の種類によって避難所が変更になる場合があります。平時の時に確認し、家族で共有しましょう。
5	豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認して下さい。	ハザードマップで 浸水域を必ず確認し、安全な場所を選びましょう。車内の準備も忘れずに。